

杉村病院発
地域広報誌
No. 2

第2号

出合い in 杉村病院

私の闘病記

杉村病院 名誉院長 森田 浩一郎



昨年、秋頃より前胸部に何とも云えない不快感があり、気になつておりましたが、ついつい

毎日の多忙に紛れ、普通の生活を続けておりました。しかしやはりに気になる。自分なりの判断では食道下部のただれか、胃液の食道下部への逆流かなあの程度と考えておりました。疼痛もなく、多忙による疲れかなあと軽く考えていました。

患者様には、体に何か違和感があつた時は、検診・検査を何時もお話している医師としては恥ずかしい次第でした。11月下旬、当院の外科名医藤田博博士に相談、胃カメラによる食道、胃の検査をして戴きました。一部、胃に病変が見つかり、摘出標本の病理検査を受けました。一週間後、やはり胃体部に癌腫が認められました。初期そして小さい病変との事でしたが、まさかの癌。やはり来るものが来

たと心に動揺が起こりました。しかし私は、常日頃より「たとえ体に病があるうとも、心もまでは病（やま）さない」との信念をもつておりましたので、早速、体の病の処置につき、杉村理事長・藤田博士・長男の医師豊と相談、皆様のお力を得て手術に踏み切りました。

幸い、胃の粘膜炎の初期癌で筋層には全然湿潤していないとの事、安心は致しました。しかし、我が病理標本を自分の目で見ると癌細胞がはつきりあるではないか、日頃強そうな事云つておられる私も弱い人間になつておりました。私も以前、前立腺肥大による手術、痔や声帯ポリープの切除等の経験はありましたが、自身の癌は初めて。よく患者様に癌についての病状の告知をする事がありました。医師としてやはり患者様の心の動揺はよく感じ、それに対応してより良いインフォームド・コンセント（説明と同意）に心掛けて参りました。しかし、自ら自分自身が癌を体験して、もつと患者様、相手の立場に立って、恕（ジヨ）の心、深い愛の心でのご説明・ご理解を得ることが大切と実感した次第です。

天命という言葉があります。孔子が故郷を追われ、帰国のため黄河を渡るか渡らないかの決断に迫られた時、天命に従って追われた地に塾をつくり、すばらしい論語をはじめ東洋哲学をつくられました。ローマ皇帝が天命に従ってルビコン河を渡った。所謂「さい」は投げられた。その結果、大ローマ帝国が誕生し、ヨーロッパの大部分を支配することが出来た。人は天命に従って生まれ、成長し、病気を得、老い、やがて死に至ります。いかに天命に従い、常に心に安堵感を持つて生き、老と病に強く立ち向かう事が人生を生きる道ではないでしょうか。

院内改修工事便り

事務局長 馬場口 勝也

かねてより懸案だった、一般浴室・特浴室の前面リニューアルが今年一月に完了、特殊浴槽も一台増設し、患者様の入浴に関する環境は、格段に向上したと考えています。

また、エアコンにつきましても今春、全ての病室を、病室ごとに温度設定、オン・オフ操作できるセパレート方式に入れ替えましたので、熱帯夜のエアコンのオフ時間（これは新築の病院以外、全館一体型の冷暖房が多い為、どこの事務長さんも結

構悩んでいる問題なのです。地味な話ですが・・・も、患者様個々のご要望にかなりお答えすることができるようになりました。

現在、病室のドア及び内装の改修工事を行っており（三階工事中）、順次四階、五階、六階へと進めていきます。（患者様の移動等で病棟のスタッフの方は大変かと思いますが、よろしくお願いいたします。）また、病棟の廊下につきましても、なるべく患者様に心地よい療養生を送っていただけるような床材を選定中で、決まり次第フロアーことに工事を進めていく予定であります。

基本健康診査のお知らせ

40歳以上で健診を受ける機会のない市民の皆様が年に1回（年度内に1回）無料で受けることができます。内容は、

- ① 問診
- ② 身体計測 身長・体重
- ③ 診察
- ④ 血圧測定
- ⑤ 検尿
- ⑥ 糖・蛋白・潜血検査
- ⑦ 血液検査
- ⑧ 心電図検査

ご希望の方は受付にお問い合わせください。

新入職員紹介

8月22日以降に入られた

職員の方の紹介です

秋風とともに病院に入ってきた仲間を紹介します。この新聞がでるころは、きつと職にも慣れて、生き生きと仕事をこなしていらつしやることと思います。皆さん、よろしくお願ひします！



藤田 りささん
受付勤務

人と接する仕事に憧れ、この仕事につきました。沢山の患者様とお知り合いになれるのは嬉しいのですが、忙しくなるとつい丁寧な対応を忘れそうになつてしまうのが悩みです。不慣れでご迷惑をおかけしますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



堀江 時子さん
調理助手 栄養部勤務

自分が作った料理で患者様に元気になつてほしいとこの仕事を選びました。孫達と遊ぶのが一番の楽しみで、先月末に6人目の孫が生まれたばかりです。仕事は大変ですが、将来の自分の為にもなる仕事なので精一杯頑張ります。



赤崎 まなみさん
薬剤師助手 薬剤部勤務

楽器演奏（フルート・オカリナ）が趣味で、以前は音楽教室で教えていたり、音楽イベントに参加していました。責任のある仕事ですが、お薬についての知識が得られるので大変勉強になります。明るい性格なので、皆さんぜひ声をかけてください。



塩崎 亜紀さん
介護士 東病棟勤務

人のお世話をするのが好きでこの仕事につきました。大変だけど、患者様と楽しく会話をしながら介護にあたつていきます。疲れた時は、友人と温泉めぐりをすることでストレス発散しています。



酒井 翔さん
介護士 東病棟勤務

以前は、施設で夜勤の介護職についていました。初めての病院勤務ですが、一つの業務が大変勉強になります。休みの日は、友達と遊びに行くか、読書をして過ごしています。最近読んだ中でお薦めの作品は「1週間の奇跡」という小説です。

院内感染対策委員会便り

患者様が安心して、安全な医療を受けられる環境を整える為、活動しています。感染症の状況を正確に把握し、正しい知識の啓蒙を図ることを目標に、平成8年5月より吉村院長を委員長として活動をはじめました。

昨年4月からはICITチーム（院内感染対策チーム）を立ち上げ、各病棟・外来の看護師長・検査部のメンバーが直接院内をまわつて問題点を各部署に指摘、問題のあるところはすぐに改善するよう努めています。

紙オムツがきちんと回収されているか、生ゴミの状況はどうか、そんな身近な問題にも取り組んでいます。9月の委員会では生ゴミ捨場が雑然としていると問題になり、早速囲い扉をつくり、きれいになりました。皆さん、気付かれましたか？

院内感染防止に最も大切なことは手洗いだと言われています。手洗いはマニュアルの手順を守つて正確に実施しましょう。

インフルエンザの季節も間近。現在、予防注射実施中です。職員の方は、かかる可能性も高いので、積極的に受けて下さい。

一般の方の予防接種も勿論実施中です。



まちの名医紹介 第二回

医療法人 仁木会 仁木病院 理事長 仁木 啓介先生

日本臨床催眠学会常任理事・日赤卒後臨床研修指導医等、お忙しい役を沢山こなしながら、臨床医としても活躍中の仁木先生に今日は直撃インタビューです。

Q まず、たくさんある診療科の中から精神科を選ばれたのはなぜでしょうか
 学生の頃、いろんな診療科をまわりましたが、他の診療科だと、自分がどういいう医者になるか想像ができませんでした。ところが、精神科医と思った時、自分がどんな医者になるか、まるで見当が付きませんでした。様々な患者様に囲まれて、自分はどういう医者になっていくのか、そこを見届けたかったのかな。

父も精神科医ですが、父が仕事をしている姿は見たことがありませんので、父の影響ということではないと思います。

Q 仁木先生の病院では、他ではなかなか受けられない治療法を取り入れていらっしゃるというお聞きしましたが

催眠療法とEMDRを行っています。催眠療法は熊本県ではうちだけです。

言葉かけによって、トランス状態（寝ているでも起きていてもない、リラックスした状態）にすることで、その人の精神的ストレスや不安を取り除いていきます。不安感の強い人、心にトラウマをもっている人が適応です。EMDRというのは、眼球運動をさせながらその人のトラウマを取り



除くことです。外傷的な出来事を考えてもらいなから、患者さんの眼の前で指を一定の速度で動かします。それを眼で追いかけてもらうことで、五年、十年かけて心が癒されていくプロセスを非常に短時間に進めることができます

Q 先生ご自身のストレス解消法は何ですか

九州各県、神戸などからも患者さんが来ますし、二月までは予約でいっぱいです。熊本県の犯罪被害者支援センターのバックアップなどもあり、日曜日はほとんどありません。年に二回位、体調をこわして寝込みますが、寝込んでいるときにストレス解消している時かな・・・(笑)

Q 月一回、杉村病院に来てくださって、入院患者さんを診ていただいたら本当に感謝しています。

杉村理事長は私の先輩ですし、森田名誉院長からも頼むと言われていますからね。なんとしても、都合をつけてきてますよ。明日からは、アメリカへ学会出席の為、出発という超多忙な仁木先生。本日はお話ありがとうございました

B型肝炎、C型肝炎ってどんな病気なの？

回答者 杉村病院 消化器科 井戸 泰徳医師

一度 検査を受けて見られませんか？

肝臓は俗に「物を言わない臓器」といわれ、ひどくなるまで症状が出ません。症状とは黄疸や全身倦怠感（全身がだるい）などです。悪くなっても肝臓のところ

が痛くなるなどありません。「物を言わない臓器」と言われる所以です。

肝臓の病気は主にウイルス、アルコール、薬物によって引き起こされます。そして日本人の肝臓病の実に80%がウイルスによって引き起こされています。肝炎のウイルスが肝臓に住み着くことによって起こるので

肝炎ウイルスは、A型・B型・C型・D型・E型・G型・I・V型が現在分類されていて、そのうち慢性化して肝硬変・肝癌などになってゆくのはB型肝炎とC型肝炎です。この2つの肝炎ウイルスの感染経路は良く似ていて、輸血・血液製剤・性行為や出産時に起こる母子感染・麻薬の乱用などです。

今では、献血スクリーニング方法が採用されたことによって、輸血や血液製剤でうつることはほとんどありませんが、昭和の時代に輸血を受けた人は罹患している人も多くいます。

性行為による感染のメカニズムはまだ解明されていませんが、知らないうちにうつっている事がほとんどです。

妊婦さんは産科で必ずB型肝炎・C型肝炎

炎の検査を受け、医師は子供にうつらないように対策を講じています。

「肝臓が悪いですね」と言われたことのある患者さんの中には、内臓脂肪が貯まっただけの脂肪肝の人もいますが、B型肝炎やC型肝炎の患者さんでもかなりいらつしやいます。放っておくと数年後には肝硬変、肝癌になります。検査は採血だけです。一度検査を受けて見られませんか？



編集後記

あつという間に秋も深まってまいりました。外来に風邪の患者さんも多くなっています。

編集部も鼻炎で鼻ズルズルの状態で2号を仕上げました。

出来はいかがでしょうか？





看護部長
汐田 由貴子

ホスピタリティマインドを基本に 理想的な医療介護連携を実現

医療法人 杉村会 杉村病院



杉村病院の病床は177床、併設する介護老人保健施設「のぞみ」が74床で、その稼働率はここ数年95%を超える。検査や人間ドックの機能充ア（かかり付け医）として地域に根付き、一方で高齢者医療を主眼に置きながら介護老人保健施設を併設、都心型のコンパクトで機能的な医療介護連携のシステムを構築している。昨年は、特に高齢者医療での心と体のケアをより充実するため自動化システム浴槽の導入、今年ハイグレイドな特別室を設けるなど館内施設のリニューアルも実施中だ。

システムやハード面での充実と共に医療と介護を支えるのは人、その看護体制が患者、入所者の満足度（CS）を決定付ける。

「患者様の介護度は重度の方



栄養部長
清崎 佳代

器具に頼



リハビリテーション部長
明瀬 敏二

の役割を

も多く、長期に渡る入院は心も体もクローズになりがちです。入院生活の安全性と快適性を重要視し心のケアとしては季節毎のイベントを行い、皆様に楽しんで頂いています。又、病状によっては、鼻から管を通して栄養摂取している患者様もいらっしゃるが、胃瘻造設や食事の形態を工夫する事により、出来るだけ、経口による食事への切り替えを実施しています」と汐田由貴子看護部長。「栄養バランスはもちろんですが、患者様の趣向に合う食事の提供を心がけています」と清崎佳代栄養部長。調理形態を創作したり、看護スタッフがその試食をしながら患者の症状や好みに合う食事を追及するというこだわりが、さらに口腔ケアの重要性も説く。

一方、機能回復で重要なのがリハビリテーション。同病院には6名の理学療法士、2名の鍼灸師がその役割を担う。痛みをどう和らげるかがポイント。従来の電気や器具に頼



▲介護老人保健施設「のぞみ」(室内)のふれあいを生み出している。

りがちな物理療法から徒手療法や鍼灸などの東洋医学的な治療法も用いています」と明瀬敬二リハビリテーション部長。あくまで患者の立場に立った治療を実践、ホスピタリティマインドを基本理念に現場のスタッフは行動する。

一般医療、療養型医療、介護、老健、さらに在宅と、そのレベルに応じて最も適切な対応をきめ細かく客観的に判断しフォローする。そのため、部局を超えたコミュニケーションとチーム連携が同病院の強みと言えよう。

併設の介護老人保健施設「のぞみ」の森田浩一郎施設長も「当施設としても医療、看護、介護、リハビリのサービスを全て提供できるわけです。特に救急指定を受けている病院併設のため急変への対応も迅速です。さらに都心に立地しているため家族との面会も容易な環境にあります。医療も介護も人々との心の交流が原点です。その考えが職員へ浸透すれば自然と温かなホスピタリティが生み出されてくるのです」と笑顔のふれあいを生み出している。

医療法人 杉村会

救急指定



杉村病院

〒860-0811 熊本市本荘3丁目7-18 TEL096-372-3322 FAX096-371-0886

診療科目

内科・代謝内科・消化器科・循環器科・呼吸器科・外科・整形外科・脳神経外科
小児科(土日も診療いたしております。尚、祝日は休診)・リハビリテーション科・人間ドック

併設

・介護老人保健施設「のぞみ」
・ヘルパーステーション「のぞみ」
・在宅介護支援センター「のぞみ」
・居宅介護支援事務所「のぞみ」